

多摩テクノプラザ 夏休み子ども科学技術教室を開催

8月2日・3日、多摩テクノプラザでは、「夏休み子ども科学技術教室」を行いました。この教室は、東京都立産業技術高等専門学校から講師を迎え、立川自然と科学の会の協力で開催しました。

「風に向かって走るウィンドカーをつくろう!」、「簡単なモーターをつくってみよう!」、「モバイルでバランスボードを知ろう!」、「電池をつくってみよう!」の4コースに、延べ34組73名にご参加いただきました。

参加した子供達は「できた!」「動いた!」「わかった!」と晴れ晴れとした表情で、つくった成果を大切に持ち帰っていました。



▲モバイルでバランスボードを知ろう!

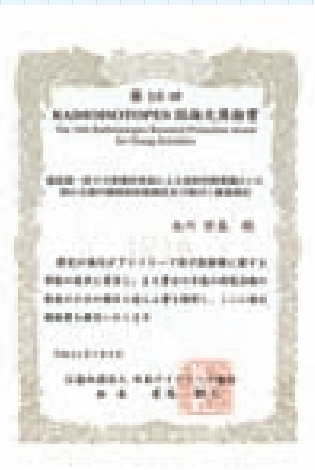


▲燃料電池によるエコムーブのデモ
(電池をつくってみよう!)

第16回 RADIOISOTOPES誌 論文奨励賞受賞

本賞は、公益社団法人日本アイソトープ協会がアイソトープ・放射線に係わる若手会員の研究活動を積極的に支援するために、RADIOISOTOPES誌に掲載された論文の著者に対し、「RADIOISOTOPES誌論文奨励賞」を制定し、表彰しているものです。

7月9日、開発第二部バイオ応用技術グループ 永川栄泰が「福島第一原子力発電所事故による放射性物質漏えいに関わる都内環境放射能測定及び被ばく線量測定」の論文で上記賞を受賞しました。



第8回こうとう産学交流会 開催

都産技研では、中小企業の交流支援の場として「東京イノベーションハブ」を設置し、中小企業と大学・学協会・研究機関との連携を促進するセミナーや交流会、展示会を開催しており、産学公連携を推進しています。



交流会風景

7月27日、江東区との共催事業として、企業と大学の連携を深めるための「第8回こうとう産学交流会」を開催しました。都産技研・芝浦工業大学・東京海洋大学・首都大学東京の産学連携への取り組み発表のほか、産学連携の経験を踏まえた企業からの事例発表を行い、76名にご参加いただきました。

受講者からは、「以前から考えている事項を解決する糸口ができた」など、企業の「技術力」と大学等の「研究力」を連携した、新たな技術や製品開発のきっかけとなることが期待されています。

都立産技高専品川キャンパスの 施設見学に参加

8月1日、東京都立産業技術高等専門学校(都立産技高専)品川キャンパスの施設見学に13名の都産技研職員が参加しました。機械



熱心に説明を聞く都産技研の연구원たち

システム工学、電子情報工学などのコース長による各コースの説明後、機械力学実験室、CAD/CAM室、電磁圧接装置、電波暗室などを見学。質疑応答では、「共同研究や人材交流などの連携(樋口明久技術経営支援室長)」、「コーディネータ同士が交流」(吉野学理事・事業化支援本部長)、「セミナーや講演会などを通して情報交換(電子情報工学コース井上徹教授)」など、都立産技高専と都産技研が今後いかに連携を強めるか話し合われました。

1962年設立以来、日本の産業技術を支える若い技術者を育成・輩出してきた都立産技高専。昨年9月には都産技研と協定を締結し、両者の特徴と強みを生かして、中小企業への技術支援や産業振興に貢献する実践的技術者の育成を使命として連携・協力していきます。